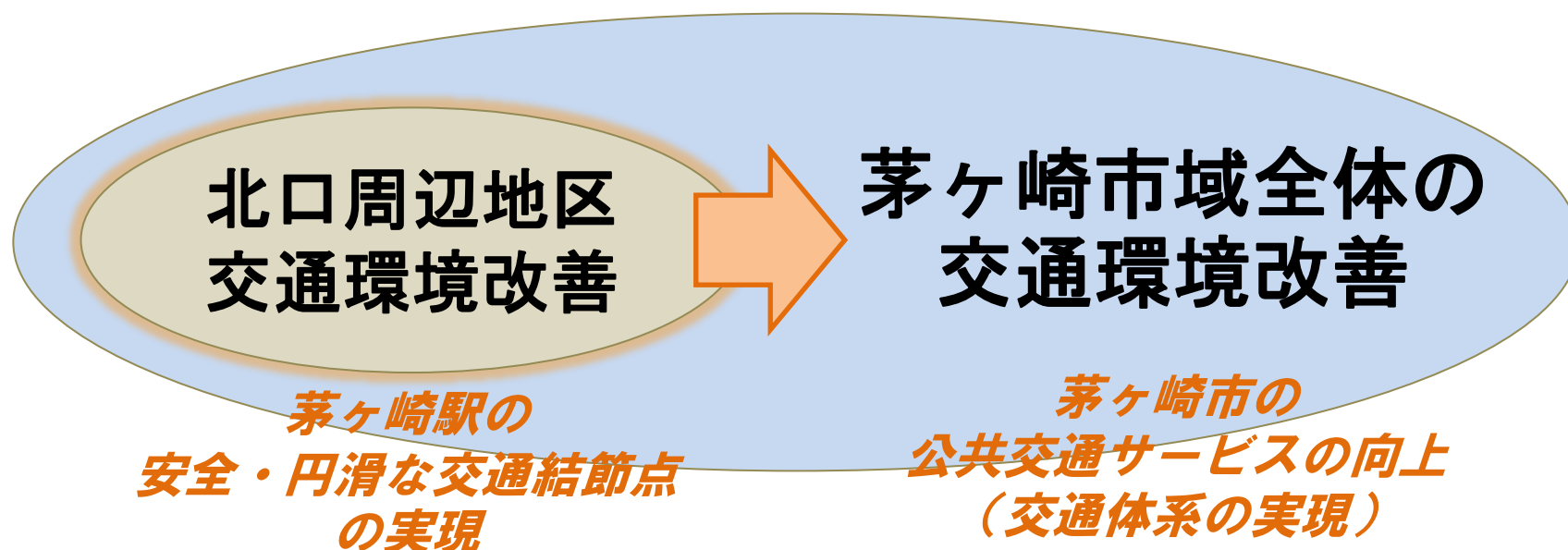


茅ヶ崎駅北口周辺地区の 交通環境の改善について

① 交通環境の改善の取組みの考え方

茅ヶ崎市域全体の交通体系をより良いものとし、利便性の高い交通環境を構築していくために、茅ヶ崎市の最大の交通結節点である茅ヶ崎駅北口周辺地区の交通環境の改善を図り、中心部での運行さらには郊外への運行といった市域全体の交通サービスの改善を図ることが必要である。

北口周辺地区の交通環境改善と市域全体への波及のイメージ



② 駅北口周辺地区の実態：自動車交通

- ・茅ヶ崎駅前交差点の交通量は、国道1号と駅前通りがほぼ同程度となっている。
- ・信号現示をみると、国道1号が主交通と設定されているため、駅前通りの青時間が短く、駅前交差点から流出する交通を処理する能力が低い。

■信号現示

		単位: 秒
駅前交差点	国道1号側	93(7)
	県道45・309号側	47(12)
一里塚交差点	国道1号側	102
	市道側	35(7)

交差点流入交通量
調査日: 2013年8月23日(金) AM08:00-09:00



【現況写真】

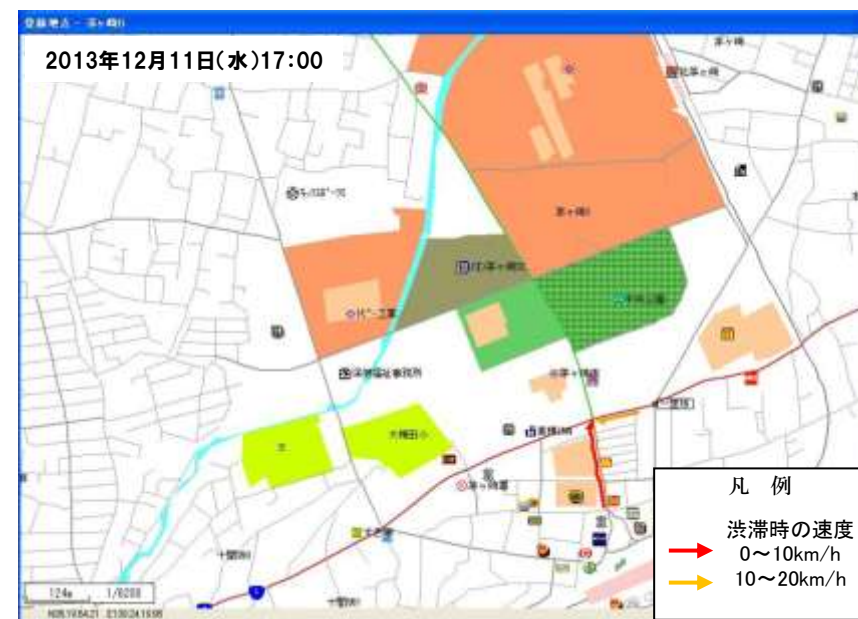
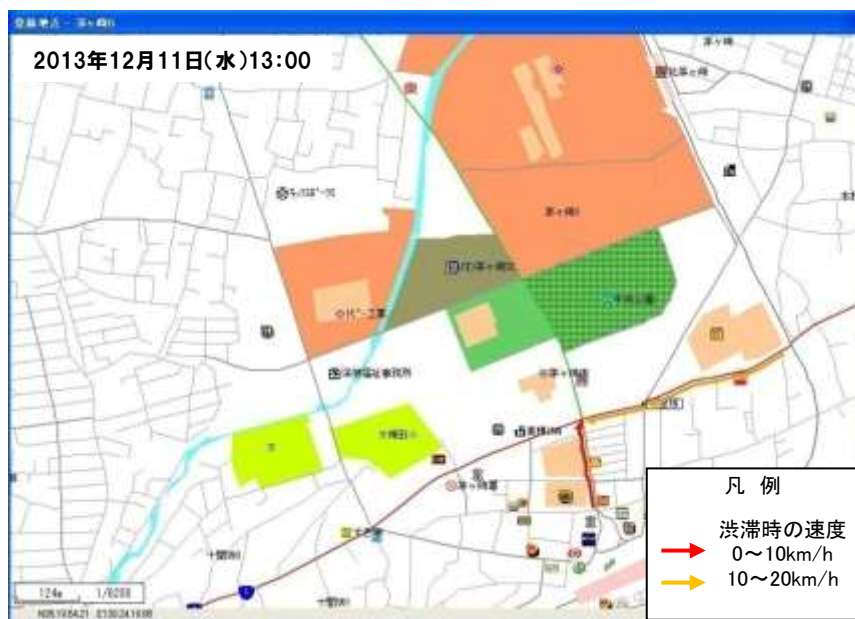
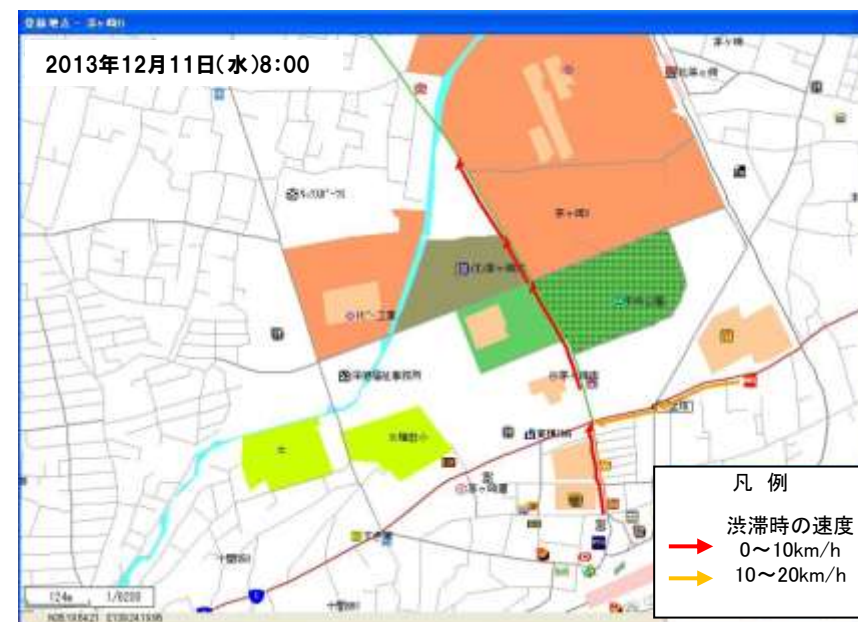


写真1: 茅ヶ崎駅前交差点の状況

下図出典: 茅ヶ崎市HP(まっぷdeちがさき)

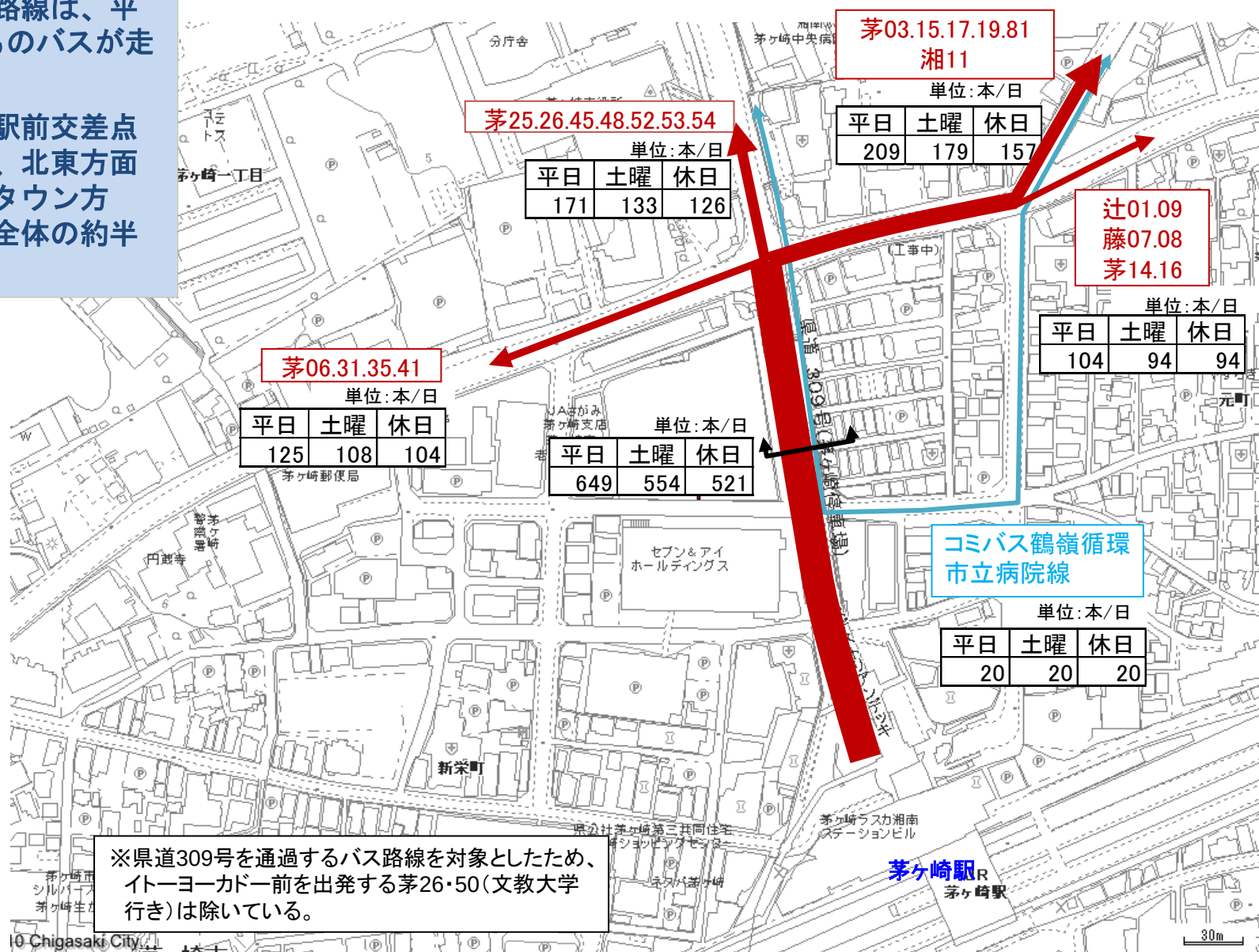
② 駅北口周辺地区の実態把握：自動車交通

- ・茅ヶ崎駅から国道1号にかけては、終日混雑しており、走行速度が10km/h以下になることが多い。
- ・国道1号の茅ヶ崎駅前交差点から一里塚交差点にかけても混雑している。



③ 駅北口周辺地区の実態把握：バス交通

- ・茅ヶ崎駅を発着するバス路線は、平日1日約630本（片道）ものバスが走行している。
- ・これらの路線は、茅ヶ崎駅前交差点で各方面に分岐しており、北東方面（辻堂方面や湘南ライフタウン方面）に向かうバス路線が全体の約半数近くを占めている。



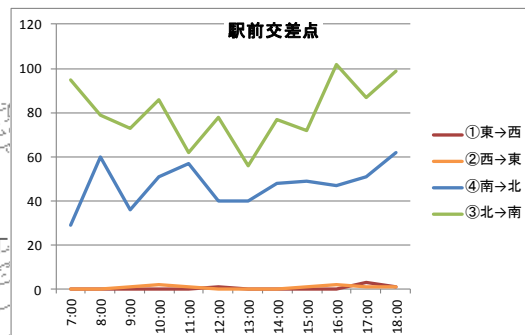
④ 駅北口周辺地区の実態把握：自転車

- ・国道1号を横断する自転車は、駅前通りよりも一里塚通りが多く、これらの自転車は、駅に近い駐輪場に向かっているものと考えられる。
- ・一里塚通りは、信号が無いため、自転車が錯綜している。

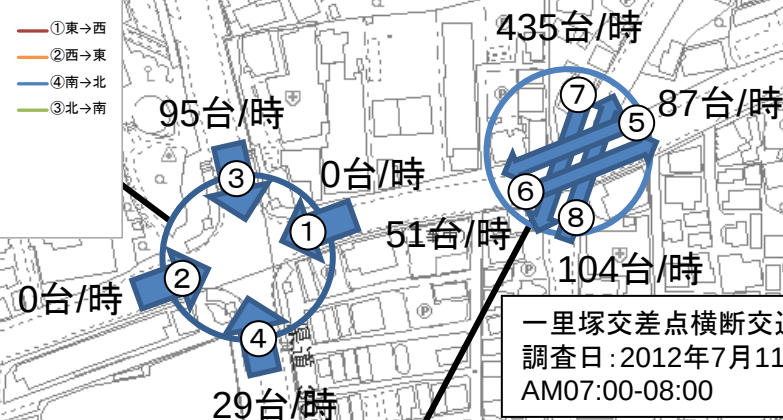
【現況写真】



写真1：車道を縦横に走る自転車

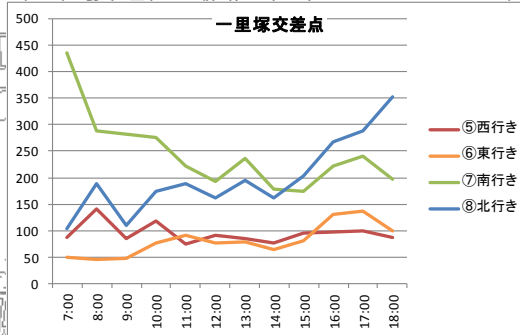


駅前交差点地下道流入交通量
調査日：2012年7月11日(水)
AM07:00-08:00



一里塚交差点横断交通量
調査日：2012年7月11日(水)
AM07:00-08:00

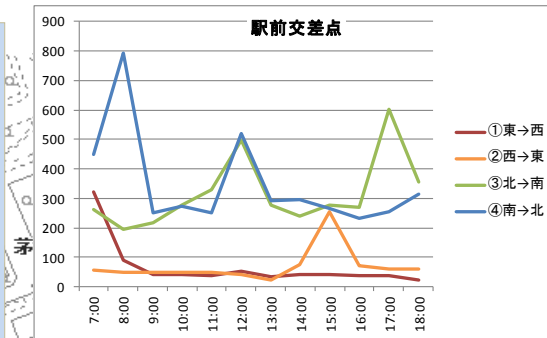
写真1



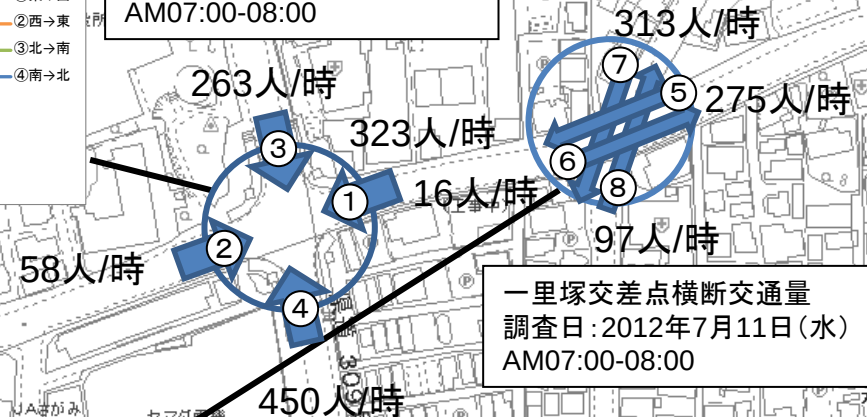
駐輪場	収容台数(台)
① 新栄町第一自転車駐輪場	1,992
② 新栄町第二自転車駐輪場	2,377
③ 新栄町第三自転車駐輪場	556
④ サイクルパーク	1,500
⑤ ダイクマ茅ヶ崎店駐輪場	184
⑥ イトーヨーカドー茅ヶ崎店駐輪場	320
⑦ 茅ヶ崎ラスカ駐輪場	468

⑤ 駅北口周辺地区の実態把握：歩行者

- ・歩行者は、駅前通りが交通量が多く、駅や駅周辺の施設が目的地と推察される。
- ・駅前通りから外れると、歩行空間が十分でなく、信号が無いため、自動車や自転車との錯綜が生じている。



駅前交差点流入交通量
調査日：2012年7月11日（水）
AM07:00-08:00



【現況写真】



写真1：狭い歩道と車道で錯綜する歩行者と自転車・自動車



写真2：信号の無い横断歩道

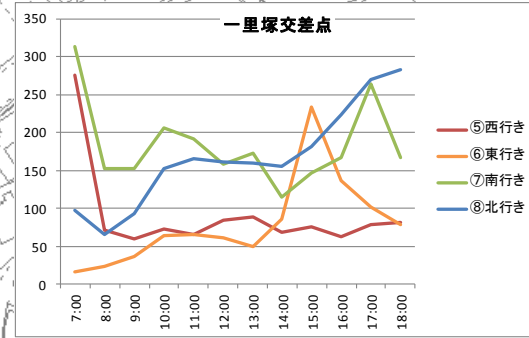


写真1

写真2

⑥ 駅北口周辺地区の実態把握：駅前広場

- ・駅前広場は、平日1日1200本以上ものバスが発着する中、タクシーや一般車両、自転車、歩行者との動線が交錯し、広場内が混雑している。

【現況写真】

- ⑥ 満車に近いタクシープール



【現況写真】

- ④ 続々と進入するバス



- ⑤ 自転車や歩行者が錯綜



- ① 路上駐車による狭隘化



- ② 混雑する駅ビル駐車場入り口



- ③ バス・タクシー・乗用車が錯綜



⑦ 駅北口周辺の課題

●バス利用の利便性向上から見た課題

■茅ヶ崎駅前交差点がボトルネック

- ・茅ヶ崎駅前交差点がボトルネックとなり、慢性的な渋滞が発生している
- ・ほとんどのバスがこの混雑の影響を受け、定時性・速達性にも影響を及ぼしている

■駅前広場内も混雑

- ・1日往復1200本以上ものバスが発着する中、広場内でバスやタクシー、一般自動車が錯綜し、混雑が発生
- ・タクシープールは狭い上、形状が悪いため、空間を有効に使いにくく、タクシープールからタクシーがあふれることもある

- 
- ・バス利用の利便性向上のために、北口駅周辺の交通円滑化や混雑を回避するバス路線ルートの設定が必要
 - ・駅広内の錯綜を緩和し安全で円滑な広場の動線計画が必要

⑦ 駅北口周辺の課題

●歩行者・自転車から見た課題

■様々な交通が錯綜

- ・バスをはじめ様々な交通が駅前に集中し、錯綜しているため、交通の円滑化に支障をきたしている。
- ・駅前通り以外では、道路幅員もせまく、歩行者や自転車が錯綜している。
- ・特に一里塚通りは、自転車・歩行者の交通量が多いが、駅周辺の駐車場や駅広へアクセスする自動車交通も多い上、信号が無いため、安全面から問題である。



・歩行者・自転車の安全・安心な空間確保に向けて、交通に応じた道路の機能分担などの対応が必要

⑧ 今後の検討

○ 今後は、以下のような考え方のもと、駅北口周辺の交通環境改善に向けた取組みを検討する

検討の考え方

- ・ 現在の道路網を前提（新たな拡幅等は見込まない）
- ・ 駅周辺の交通の円滑化を図り、アクセス性の向上を図る取組みを検討
- ・ 特に、バス交通の利便性向上、歩行者・自転車の安全安心な空間の確保を優先的に取組むべき課題として、これらへの対応を重点的に検討

検討施策例

- ・ バス路線の駅アクセスルートの再構築
- ・ 自転車走行空間の検討
- ・ 駅前広場内の機能の再配置 等